

平成 29 年 10 月 16 日

お客様各位

株式会社フジトミ
投資サービス事業本部

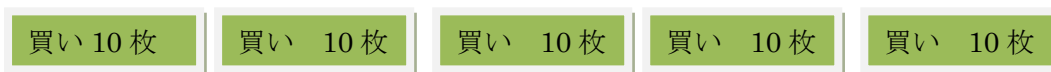
くりっく株 3 6 5 両建取引に関するご注意

平素は、くりっく株 3 6 5 の取引に格別のお引き立てをいただき、厚く御礼申し上げます。
さて、弊社では 10 月より新システムを導入し、お客様の更なる利便性向上に取り組んでおりますが、くりっく株 3 6 5 の両建取引に関して、ご注意いただきたい点がございますので、ご案内申し上げます。

以下にくりっく株 3 6 5 取引を買いポジションを 50 枚維持したまま、相場変動にあわせて売り取引の新規両建をした場合の必要証拠金の推移の具体例をお示しして、ご説明いたします。

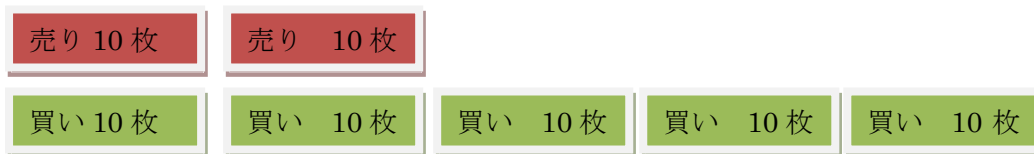
<具体例> 1 枚あたりの必要証拠金を 33,400 円とした場合

- ① 50 枚の新規の買建玉をした場合



必要証拠金 : 33,400 円 × 50 枚 = 1,670,000 円

- ② 20 枚の新規の売建玉をした場合



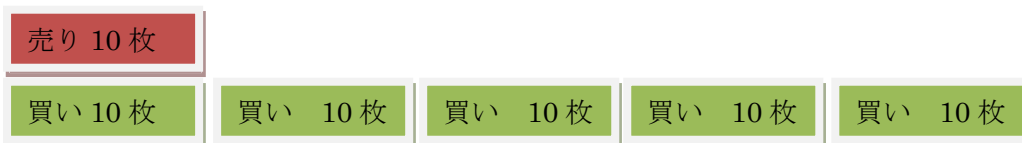
必要証拠金 : 33,400 円 × 30 枚 = 1,002,000 円

- ③ 30 枚の新規売りを追加し、売建玉を 50 枚とした場合



必要証拠金 : 33,400 円 × 0 枚 = 0 円

- ④ 50 枚の売り建玉の 40 枚を買決済し、10 枚の売建玉とした場合



必要証拠金 : 33,400 円 × 40 枚 = 1,336,000 円

* 具体例の①～③のケースでは、買建玉数量から売建玉数量を相殺し、残った片玉数量に対して、必

要証拠金を計算しています。最終的に同数量の両建となった場合には、必要証拠金はゼロということになります。

***ご注意いただきたいのは、具体例④のケースで、両建の状態を解消方向に決済する場合には、残そうとする片玉数量に相当する証拠金（有効証拠金）が必要であるということです。**

万が一、必要証拠金以上の注文が執行され、約定した場合には、証拠金不足となりロスカットが執行されます。

十分ご注意くださいますようお願い申し上げます。

尚、ご不明な点やご質問がある場合には、下記の営業担当者もしくは金融商品管理部までお問い合わせください。

株式会社フジトミ
本社 企画営業部
0120-365-686

大阪支店 営業部
0120-143-911

ホームトレード部
0120-365-686

金融商品管理部
代表 03-4589-5500

以上